

# 07. メンテナンス(保守・点検)

## 警告

### 不適切な取り扱いによる故障や負傷のリスク

ベストの電子部品を誤って分解したり、修理を試みたりすると、誤作動や作動不良の原因となり、重傷や死亡につながる恐れがあります。メンテナンスは、本マニュアルで具体的に指示されている内容のみを行ってください。

## 定期的な点検とお手入れ

### 走行前の点検

走行前に毎回、以下の項目を確認してください。

- ベストに目に見える損傷(破れ、縫い目の摩耗、部品の破損など)がないか確認する。
- 損傷が見つかった場合は、正規販売店に連絡してください。

### 必要に応じたクリーニング

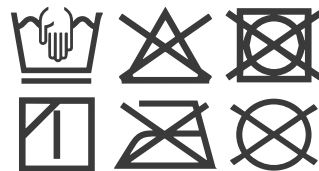
清掃が必要な場合は、次のガイドラインに従ってください。

#### 表面のクリーニング(拭き掃除)

- 乾いた布、または湿らせた布でベストを拭いて汚れを落としてください。
- 保管または再使用する前に、ベストを完全に自然乾燥させてください。
- ベストのいかなる部分や構成部品にも、溶剤、柔軟剤、化学クリーナーを使用しないでください。

#### 外生地(ガーメント)の洗濯(部品を取り外した状態)

- まず最初に、ベストシステムから外生地(ガーメント)を分離してください(26ページの「ベストシステムから外生地(ガーメント)を取り外す」を参照)。
- エアバッグや電子部品は、絶対に洗濯機で洗ったり、水に浸したりしないでください。
- 30°C以下のぬるま湯で、中性洗剤を使用して手洗いしてください。
- 風通しの良い涼しい場所で陰干ししてください(直射日光や熱源を避けてください)。



**禁止**

- 漂白剤や刺激の強い化学薬品の使用。
- 柔軟剤や酵素を含む洗剤の使用。
- タンブラー乾燥、絞り、浸け置き。
- アイロン掛け、または直接熱を当てること。

**エアバッグ本体のお手入れ**

- 湿らせた布で拭くのみとしてください。
- 折りたたまずに広げた状態で自然乾燥させてください。
- 洗濯機や化学薬品は使用しないでください。

**部品の交換スケジュール****インフレーター**

定期交換。状態に関わらず4年ごとに交換してください。

作動後の交換：事故以外の状況でエアバッグが展開した場合、この条件（誤作動等）に限り最大2回までインフレーターの交換が可能です。

※交換にはガーメント/クッション/ユニット本体に損傷が無いことが条件となります。

**ベストシステム全体**

ベストシステム全体：耐用年数が5年となります。ご使用から5年間を経過した際は弊社カスタマーサポートまでご連絡をください。

インフレーターを一度も交換していない場合は、使用開始から4年が経過する時点でインフレーターを新品へ交換してください。

事故による作動：事故の際にエアバッグが展開した場合は、直ちにベストシステム全体を買い替える（交換する）必要があります。

**保管方法**

- ベストは平らに置くか、ハンガーに掛けて保管してください。
- 温度10℃～25℃、湿度45%～80%の環境で保管してください。
- 熱源（45℃以上）から遠ざけてください。
- 保管前にベストの電源を切ってください。
- 自己放電を防ぎバッテリー寿命を延ばすため、3～6ヶ月ごとに充電することをお勧めします。

**運送・持ち運び**

このベストはUN 2990自動膨張式救命装置に分類されます。各国での輸送許可を確認するため、航空会社などの関連当局に必ず事前に確認してください。

電源スイッチを「ON」にしたまま輸送・携行はおこなわないでください。

関連情報：

- バッテリー：Li-Po 3.7V 2000mAh (7.4Wh)
- インフレーター：圧縮ガス、爆発性物質の純含有量600mg (0.6g)

## 廃棄方法

- 火工品(インフレーター)は、使用・未使用に関わらず、弊社カスタマーサポートへご返却ください。これらの部品には有害物質が含まれているため、家庭ゴミとして廃棄したり、焼却したりしないでください。
- 電子部品(ECU、バッテリー、LED、ケーブル)は、お住まいの地域の電子廃棄物規制に従ってリサイクルしてください。ベストのその他の部品は、地域の廃棄物規制に従ってリサイクルしてください。

### 警告

#### **有害物質:不適切な廃棄による爆発、火災、または毒性物質放出のリスク**

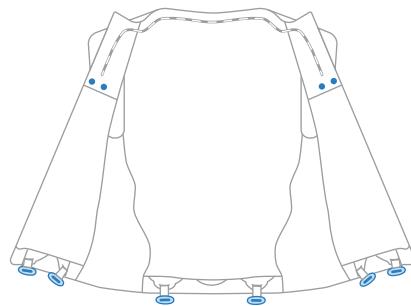
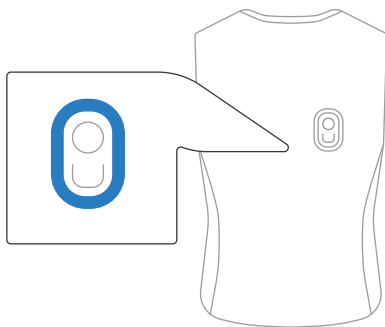
インフレーターには、発火したり有害物質を放出したりする可能性のある火工品(火薬類を含む部品)が含まれています。インフレーターは、弊社へ直接、または正規販売店を通じて返却してください。家庭ゴミとして廃棄したり、焼却したりしないでください。

# 08. 分解および再組み立ての手順

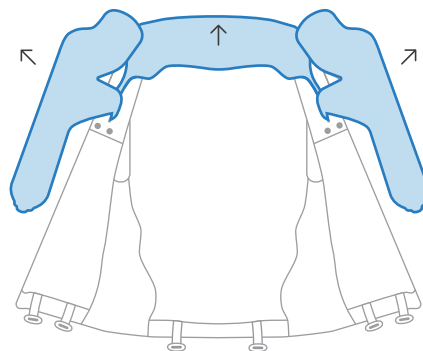
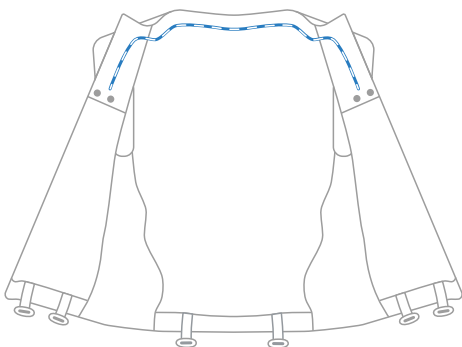
ベストは完全に組み立てられた状態で納品され、満充電後すぐに使用できる状態になっています。ただし、クリーニング、メンテナンス、または点検などの作業(23ページの「定期的な点検とお手入れ」を参照)のために分解が必要になる場合があります。

- ✓ エアバッグとECU(電子制御ユニット)のケーブルは常に慎重に取り扱ってください。
- ✗ 部品を過度に引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- ✗ 分解中は、ベストの電源が完全にオフになっており、充電器に接続されていないことを確認してください。

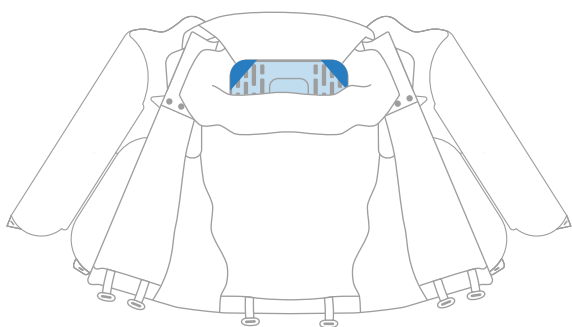
## ベストシステムから外生地(ガーメント)を取り外す



1. ベスト背面にあるダストカバーを静かに引っ張り、クリップを外します。
2. ベストの前面を上にして平らな場所に置き、フロントファスナーを開けて広げます。
3. ベスト底部にあるエアバッグ用の穴から、6か所すべてのアンカー(固定具)を外します。
4. ベストの両側にそれぞれ2つつボタンがあります。両側のすべてのボタンを外してください。

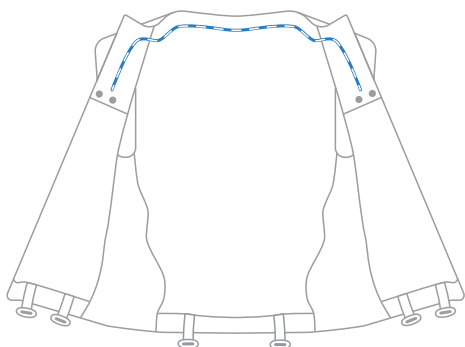


5. 内部にアクセスするために、内側のファスナーを開けます。
6. 開口部からエアバッグを慎重にスライドさせて取り出します。

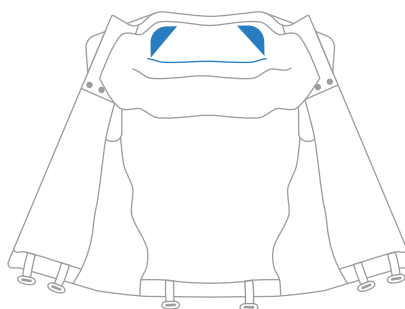


7. 首元のバックプロテクター用ポケットの角にある固定フラップを外し、エアバッグの残りの部分とバックプロテクターを開口部から慎重にスライドさせて取り出します。

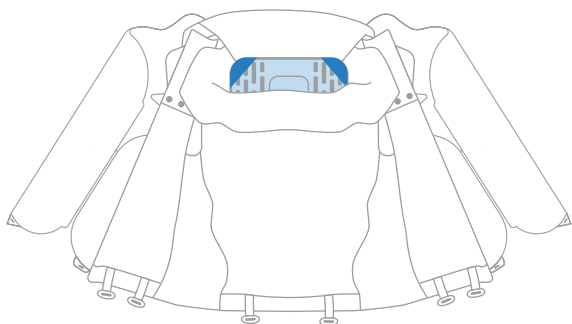
### ベストシステムへの外生地(ガーメント)の再取り付け



1. 外生地(ガーメント)の前面を上にして平らな場所に置き、フロントファスナーを開けて広げます。
2. 内側のファスナーを完全に開けます。
3. 外生地(ガーメント)が平らに広げられ、表面にシワがないことを確認してください。必要に応じて、折り目や重なりを滑らかに伸ばします。



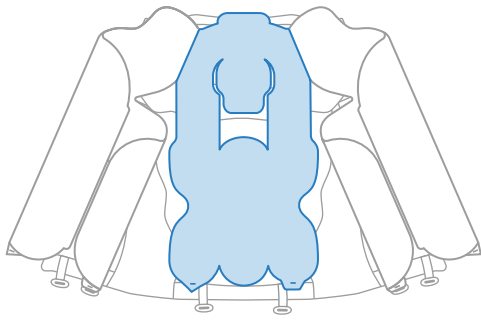
4. 外生地(ガーメント)の上部を持ち上げて、首元の開口部を露出させます。この開口部は、エアバッグとバックプロテクターを取り付けるために使用します。



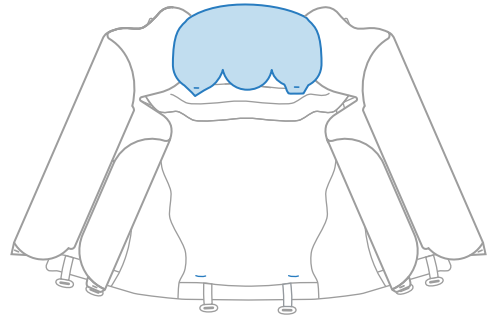
5. バックプロテクターを開口部からスライドさせて入れます。その際、正しい向きであること、およびベスト背面にあるダストカバーと位置が合っていることを確認し、固定フラップで留めます。



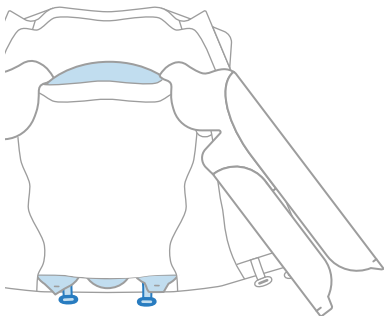
6. ダストカバーを、「カチッ」と音がして固定されるまで静かに内側へ押し込みます。



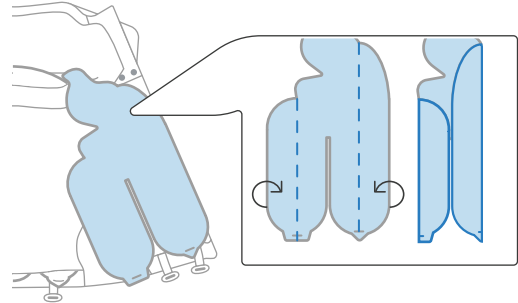
7. エアバッグの表面が滑らかでシワがないことを確認します。エアバッグの背面部分を、外生地(ガーメント)の中央部分に慎重に挿入します。



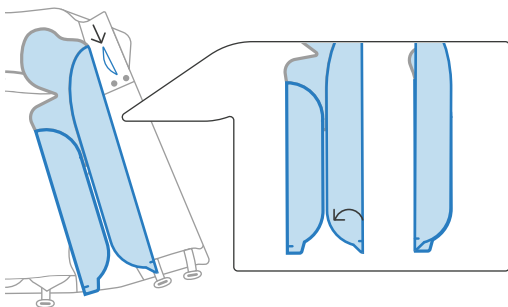
8. ベスト底部にある面ファスナー(ベルクロ)を剥がして開きます。エアバッグがベスト内に完全に収まるまで、静かに下方向へ引っばります。



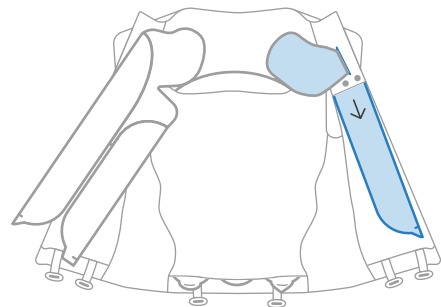
9. ベスト底部にある2本の紐を、アンカー(固定具)を使って取り付けます。  
10. 紐が隠れて外にはみ出さないように、ベストの下端の縁(ふち)の下にしっかりと押し込みます。



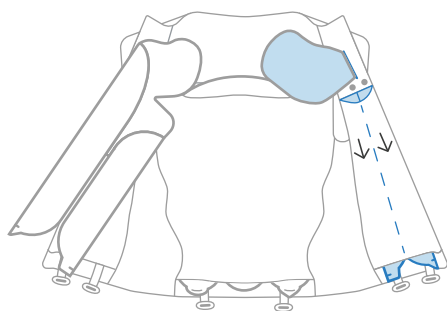
11. エアバッグの側面が折りたたみに適した位置にあるか確認します。位置の確認にはエアバッグのループ穴を使用してください。エアバッグには正しい折りたたみ位置を示す2つの「切り欠き(ノッチ)」があります。この2つのカット位置を合わせ、正しい向きであることを確認してください。



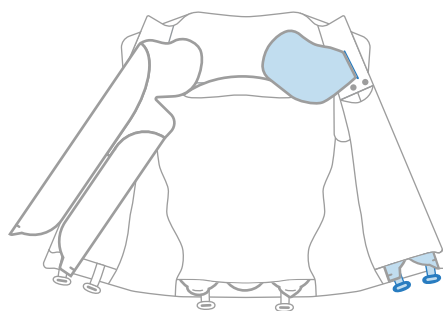
12. 内側の開口部からエアバッグを慎重にスライドさせて入れ、中で広げます。



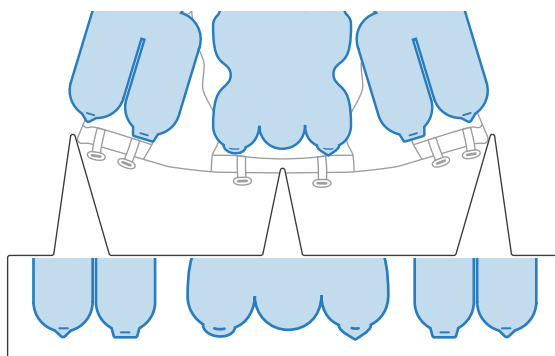
13. 外生地(ガーメント)のボタン留め部分を通して、片側ずつ挿入します。



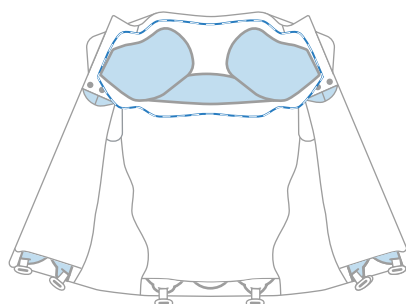
14. 底部の開口部を利用して、エアバッグを真っ直ぐに整えます。



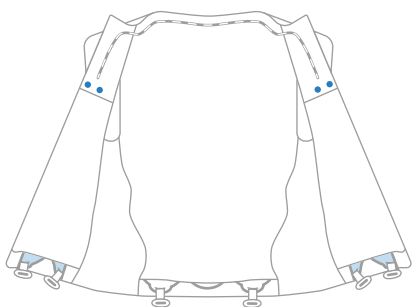
15. ベスト底部にある2本の紐をアンカーで取り付け、外生地(ガーメント)の下端の縁にしっかりと押し込みます。



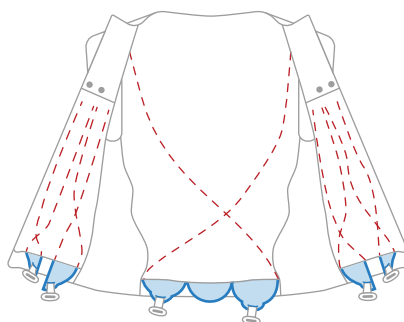
16. 正しく配置されているか確認するために、クッションの端の形状をチェックしてください。これが正しい位置を示す目安となります。
17. 反対側の外側エアバッグについても、ステップ11～15を繰り返します。



18. エアバッグが滑らかで生地と正しく合っていることを確認し、内側のファスナーを閉じます。



19. ベスト両側のボタンを留めます。
20. 生地の上から手でなぞってシワがないか点検し、すべての縫い目、構成部品、およびエアバッグが正しく整列し、滑らかな状態であることを確認します。



### ⚠ 警告

**ねじれによるエアバッグの誤作動の危険性**  
 エアバッグを再度取り付ける際にねじれが生じると、衝突時にエアバッグが適切に作動(展開)せず、重傷または死亡事故につながる可能性があります。エアバッグは慎重に取り扱ってください。ねじれが生じた場合は、使用前に取扱説明書に従ってエアバッグを慎重に分解し、再度取り付けてください。